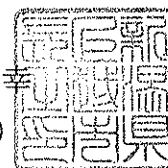




上監理第 18589 号
平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長
宮田年耕様

上越市長 木浦正幸
(都市整備部監理課)



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

日頃から当市の道路行政に対し格別なるご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、平成 19 年 4 月 2 日付け、国道企第 114 号で依頼のありました中期計画を作成するにあたっての意見を別紙のとおり提出いたします。
計画を作成されるにあたりましては、「地方の道路整備はまだまだ不十分」との地方の声をご反映くださいますようお願いいたします。

中期計画の作成にあたっての意見

新潟県上越市

○ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

● 上信越自動車道の4車線化を始めとした高規格幹線道路の整備

当市にとって上信越自動車道の4車線化は極めて大きな課題です。

対面交通であることにより、交通死亡事故や繁忙期等に交通渋滞が発生しており、その解消が強く求められています。

また、災害時の代替道路としての役割も大きいと考えておりますが、2車線ではその役割を果たすことは困難です。

これからの当市の発展を考えた時に、企業誘致や観光による交流人口の増加を図るため、4車線化によるアクセス性の更なる向上は必要不可欠なものです。

● 上越魚沼地域振興快速道路を始めとした地域高規格道路の整備

上越魚沼地域振興快速道路は広域合併をした当市の沿線各区を結ぶ路線です。

冬季間の安定交通確保や、救急救命医療サービスの格差是正を図るなど「命を守る道路」としても重要な路線となっています。

● 市域内を結ぶ地域幹線道路の整備

広域合併を行い市域が拡大した当市では、各地域間を結ぶ道路整備が十分ではありません。

新市の一体感を醸し出すためにも、また、中山間地の活性化や新市の各地に数多くある観光資源を有効に活用するためにも、市域内を結ぶ幹線道路整備は重要な課題であります。

● 通学路などの歩道整備

通学路をはじめとした歩道の整備も十分とは言えません。子どもたちが安心して通学できるよう、歩道の整備に努める必要があります。

● 駅周辺等のバリアフリー化

高齢者や身体障害者等の移動にかかる身体の負担を軽減し、その移動の利便性及び安全性の向上を図るため、バリアフリー化を推進する必要があります。

特に多くの人が集まる駅周辺は重点的に進める必要があります。

- 流雪溝や消雪パイプなど克雪施設整備

豪雪地である当市では冬季間の交通を確保することが大きな課題です。

平成 18 年豪雪では、昭和 61 年以来 20 年ぶりに市街地での一斉雪下ろしが実施されましたが、流雪溝が整備されていた地区では市民による排雪が行われていたことにより、交通止めの期間が他地域と比べ短期間となり、市民生活への影響を最小限に抑えることができ、絶大な効果を発揮しました。

今後も流雪溝整備地区の拡大など、克雪施設の整備を図る必要があります。

- 高齢化が進む橋梁等の道路施設の適正な維持管理

今後、橋梁などの土木施設は急速に高齢化が進行します。

当市の橋長 15m 以上の市道橋梁では、60% を越える橋梁が架設後 30 年までの比較的新しい橋梁ですが、今後は高齢化が進行していきます。

適切な維持管理を行い、長寿命化を図ることが必要となります。

- 市民から数多くの要望が寄せられる身近な生活道路整備

市には市民から多種の要望が数多く寄せられますが、一番多いものは身近な生活道路整備に関するものです。

市民の日常生活に欠かせない身近な生活道路整備は重要な課題です。

- 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- 工法を工夫したり、新技術を活用するなど建設コストの低減を図る
- 適正な入札執行により事業の透明性を図る
- 市民との協働を進め、維持管理にかかるコストの低減を図る

- その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方の道路は中央と比較して十分な整備状況にはなく、このままでは中央と地方の格差は益々拡大してしまいます。国土の均衡ある発展や活力ある地域づくりを行うためにも道路は真に必要な社会資本であり、「道路特定財源は全額を道路整備に充てる」必要があるものと考えます。